クラス番号	346	担当教員名	小林　洋司
		他専修学生受入上限人数	３名
テーマ	福祉（ふくし）を学び、伝えていくことに関わる研究		

ゼ ミ ナ ー ル 概 要

目的、内容、方法等：

本ゼミナールでは、人間が変わっていく過程に関心を持ち、実践・研究に取り組むことを通して、「社会づくり」を担っていく「人財」を育成していく条件や方法について考えることを目的としています。具体的には、以下のような学習目標を想定している。
①ひとつの問題が多くの問題とつながっていることについて考察を深めることができる。
②ひとつひとつの「いのち」の存在と実感を大切にできるようになる。
③自分自身の「世界」や「社会の見方」を拡げて考えられるようになる

以上の目標を達成するために、研究や実践の理論及び手法に関する学習を進めていく。

授業計画： 詳細は未定であるが以下のような内容の学習を進めていく予定である。

・社会福祉問題・社会問題に関する基礎的学習（書籍や論文を読む）
・福祉教育・ボランティア活動に関する学習　（実践の企画、運営<参加>）
・出会いや学びを豊かにする「仕掛け」に関する学習（実践<合宿を含む>の企画、運営<参加>）
・自分自身の考え方の根底にある「あたりまえ」を問い直す学習（ディスカッション）

その他、ゼミメンバーと話をしながら必要に応じていろいろな教育・学習の機会を考えていきます。
色々な関心をもちよることのできるゼミになればと考えています。

注意事項：
※状況によりますが、学校外学習はもとより、場合によっては合宿（ハンセン病療養所や障害者団体等）が含まれることがあります。

担当教員からのメッセージ

わたしが専門としているのは、ふくしと「教育・学習」の重なる領域です。また、研究テーマとして取り組んでいるのはマイノリティ問題（病い、障害など）です。とりわけ、人がマイノリティ問題と「出会い・近づく」機会や、方法に関心をもっています。福祉と教育は関わりが薄いように思われる人もいるかもしれませんが、人と人のあいだを「むすんだり」、「ほぐしたり」、時には「むすんだりほぐしたりすることを考える」ことは、福祉の分野でも大変重要であると考えます。ゼミのメンバーとなる方々にもこのような課題に積極的に関心をもとうとする姿勢を求めます。それほど楽ができるゼミではないかもしれません。しかし「広い意味でおもしろく、意味がある」時間を受講する皆さんと創っていきたいと思っています。